

# シリーズ～築く～まとめ

---

2010/11/28

# 神の国を築く

---

- イエス・キリストによってもたらされた、新しいパラダイム(価値観・秩序・枠組み)に基づいて、世界を造りかえていく。
- 教会は目に見える神の国として、様々な課題に取り組みながら成長してゆく。
- 私たち一人一人は、神との交わりによって霊を豊かに育てつつ、「幸いな国」を目指して、成長する。

# 「築く」ために忍耐する

---

- 神殿再建に取り組んだエズラ・ネヘミヤ
  - 2人ともペルシャの高官であったが、祖国の神殿・城壁を再建するため、難事業に挑んだ
- 神に導かれた事業だったが、様々な困難に直面した
  - 敵による妨害
  - 身内による妨害(搾取・裏切り・罪)
- 祈りと忍耐によって成し遂げた

# 「築く」ために考える

---

- 初代教会は様々な問題(課題)に直面した
  - 組織上の課題: 様々な種類の人たちが共に
  - 教理上の課題: ユダヤ教・異端
  - 方針上の課題: 伝道か育成か
  - 宣教上の課題: 異教社会への適応・対決(殉教)
- 使徒たちは祈り, 語り合い, 衝突し, 考え, 耐えた。そして教会は成長した
  - 教会は新たな課題に取り組み続けている

# 「築く」べき「幸いな国」

---

- 「至福の教え」には築くべき「幸いな国」のマスタープラン(基本計画)が描かれている
- 「どのような国を造るか」ではなく「どのような人になるのか」
  - 霊の豊かさを求める人・悲愛の心を持つ人・積極的な優しさを持つ人・神の目にかなう正しさを目指す人・赦すことに最高の価値を見出す人・
- 幸いな人が幸いな国を造る

# 「築く」ために

---

- チャレンジする（おりを出よう！）
  - 神は常に新しいチャレンジに召しておられる
    - アブラハム・モーセ（出エジプト）・ヨシュア・ダビデ・神殿再建・初代教会
- 忍耐してやり遂げる（鍛えられよう！）
  - 決して思い通りには行かない
    - 戦いの中で、信仰が育ち、知恵を得、人格が磨かれる
- 本当の目的（神の栄光）を忘れない
  - すべては神のためにある

## 歴代誌上 21:26

---

- 「ダビデはそこに主のための祭壇を築き、焼き尽くす献げ物と和解の献げ物をささげ、主に祈り求めた。主は焼き尽くす献げ物の祭壇に天からの火を送って答えられた。」